

「滋賀県多文化共生推進プラン（改定版）」（案）に対して提出された意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方（案）について

1 県民政策コメントの実施結果について

平成26年（2014年）12月22日（月）から平成27年（2015年）1月21日（水）までの間、滋賀県民政策コメント制度に関する要綱に基づき、「滋賀県多文化共生推進プラン（改定版）」（案）についての意見・情報の募集を行った結果、3団体（市町含む）の方から、25件の意見・情報が寄せられました。

これらの意見・情報について、内容ごとに整理し、それらに対する考え方を以下に示します。

なお、取りまとめにあたり、提出された意見・情報の一部は、その趣旨を損なわない範囲で内容を要約したものとなっています。

2 提出された意見・情報の内訳

項目	件数
第4章 多文化共生施策の展開	
1. ころろが通じるコミュニケーション支援	5
2. 安心して暮らせる生活支援	15
3. 活力ある多文化共生の地域づくり	2
第5章 多文化共生施策の推進	
1. 各主体の役割	1
その他（全体）	2
意見・情報 総数	25件

3 滋賀県多文化共生推進プラン（改定版）案に対して提出された意見・情報とそれらに対する考え方（案）

番号	頁	項目	意見・情報の概要	意見・情報に対する考え方
第4章 多文化共生施策の展開				
1. ところが通じるコミュニケーション支援				
(1) 地域における情報の多言語化				
1	14		外国人住民を取り巻く現状は複雑化している。言語ニーズの多様化は、住んでいる地域でも感じる。優しい日本語が定着すると望ましい。それを磨いていかないといけない。	「やさしい日本語」等の普及につきましては、新たに当該プランに位置づけました。市町等とも連携して、「やさしい日本語」等の普及に取り組んでまいります。
2	14		外国人住民の滞在の長期化、定住化に伴い、トラブルが複雑化しているのは、その通りである。各方面の専門家の設置、養成にもっと力をいれるべきである。専門的な研修の機会をもっと増やすべきである。	多様化・専門化する相談に対応するため、(公財)滋賀県国際協会と連携し、外国人相談員等を対象にした研修会等を開催していますが、引き続き、外国人住民のニーズの把握に努め、ご意見の趣旨を踏まえ、施策を推進していく中で工夫してまいります。
3	14		多様なメディア媒体を活用する点について、外国語サイトは更新されていないことが多く、それでは意味がない。フェイスブックなどを活用し、新鮮な情報を提供する必要があり、予算・経費がないならそれなりの工夫をしてやっていくべきである。滋賀県求職者総合支援センターの存在があまり知られていないので、もっと広くアピールすべきである。	多言語情報紙や(公財)滋賀県国際協会のホームページ、フェイスブックを通じ、情報提供を行っていますが、引き続き、様々な主体とも連携し、タイムリーな情報提供に努めてまいります。
(2) 日本語および日本社会についての学習機会の提供				
4	16	「現状と課題」	人材確保や育成について、意味を明確に伝える必要があるため、以下のとおり修正してはどうか。 (5文字挿入) 「、学習指導者の人材確保や育成、」	ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「…、人材確保や育成、…」 【修正後】 「…、学習指導者の人材確保や育成、…」
5	16	「現状と課題」	この項目では、学習者は外国人であり、不必要な文字は削除する。 (3文字削除) 「外国人学習者の国籍等は、」	ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「外国人学習者の国籍等は、」 【修正後】 「学習者の国籍等は、」
2. 安心して暮らせる生活支援				
(1) 安心して働ける・暮らせる環境の整備				
6	17	「施策の方向」	外国人住民を対象とした職業能力開発の支援にもっと力を入れる必要がある。外国人住民も意識を変えていかないといけない。一方、行政も様々な機会を提供していく必要がある。	ご指摘の事項については、外国人住民のニーズ等を踏まえ、施策を推進していく中で工夫してまいります。
7	18	「施策・取組」③ 多文化共生のための啓発	あまりみられない。良い事例があれば、どんどん紹介して出していくと良い。	良い事例や取組の情報収集・発信に努め、普及啓発に取り組んで参ります。
(2) 教育環境の整備				
8	18	「現状と課題」	1段落目めの「外国人児童生徒等」の説明であるため、以下のとおり修正してはどうか。 (2段落目:3文字挿入) これら外国人児童生徒等は、日本語が十分理解できないため、	ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「外国人児童生徒等は、」 【修正後】 「これら外国人児童生徒等は、」
9	19	「現状と課題」	「すべて」を説明する必要はないか。 (文字挿入) 一方で、日本人・外国人を含むすべての児童生徒は、	国籍に関係なく、すべての児童生徒と位置づけていますので、原案のとおりとします。

10	19	「現状と課題」	特に長い調査名は読みにくい。根拠調査名は、最後に明記すればよい。 (配置変換) 「…が確認されています(「日本語指導が必要な外国人児童生徒の在籍および指導状況等調査」(文部科学省)より)。」	ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「日本語指導が必要な外国人児童生徒の在籍および指導状況等調査」(文部科学省)による と、……確認されています。」 【修正後】 ……確認されています(「日本語指導が必要な外国人児童生徒の在籍および指導状況等調査(第2期滋賀県教育振興基本計画より)」)。」
11	19	「施策の方向」	外国人児童生徒等に関する記述であり、以下のとおり削除した方がよい。 (4文字削除) ○…適応指導を実施するほか、児童生徒の母語による学習サポートなど…	ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「…適応指導を実施するほか、児童生徒の母語による学習サポートなど…」 【修正後】 「…適応指導を実施するほか、母語による学習サポートなど…」
12	19	「施策の方向」	「すべての児童生徒」なのか、「外国人児童生徒等」なのか明確にした方がよい。 (4文字挿入) ○…能力の向上を図り、すべての児童生徒の国際感覚の醸成と	ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「…能力の向上を図り、児童生徒の国際感覚の醸成と…」 【修正後】 「…能力の向上を図り、すべての児童生徒の国際感覚の醸成と…」
13	21	「施策・取組」⑥ 進路支援への取組	滋賀県国際協会が主語となっているので、以下のとおり修正してはどうか。 (1文字削除・4文字挿入) (公財)滋賀県国際協会はを通じて、外国籍学生びわこ奨学金を活用し、	現在、外国籍学生びわこ奨学金については、(公財)滋賀県国際協会が管理・運営をしていますので、原案のとおりとします。
14	21	「施策・取組」⑥ 進路支援の取組	これまで進路ガイダンスを主催してきた(公財)滋賀県国際協会が明記されず、主語がないのに「支援します」と結ぶのは違和感がある。以下のとおり修正してはどうか。 ○進路ガイダンスの開催支援 …進路ガイダンスの開催を支援します。 ↓ ○進路ガイダンスの開催 …進路ガイダンスを関係機関が連携して開催します。	進路ガイダンスは、(公財)滋賀県国際協会が主体となり、県や市町、ボランティア等との連携や協力を得ながら開催されています。引き続き、(公財)滋賀県国際協会の取組を支援しますが、日本の教育制度を知る機会が増えるよう、市町や関係団体などとの連携も重要と考えますので、ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「…支援します。」 【修正後】 「…支援するとともに、市町や関係団体などとの連携を促進します。」
(3)安心して利用できる保健・医療・福祉体制の整備				
15	22	「現状と課題」	同じ文中に同じ意味の言葉があるので、以下のように修正してはどうか。 (11文字削除・5文字挿入) …情報提供されていますが、外国語での対応ができるそのような医療機関は限られている…	ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「…情報提供されていますが、外国語での対応ができる医療機関は限られている…」 【修正前】 「…情報提供されていますが、そのような医療機関は限られている…」
16	22	「現状と課題」	県内3病院に医療通訳が配置されているとあるが、具体的にどこにあるのかを知りたい。もう少し明確にしてほしい。	ホームページや多言語情報紙のほか、様々な主体とも連携して情報提供に努めます。
17	22		就学児へのサービスは充実してきている。就学前の子供たちへのアシストがもっと必要だと感じる(発達相談など)。	就学前の子どもへの支援については、市町が中心となり実施されていますので、市町の担当者会議等で課題を共有するなどし、今後の在り方について議論してまいります。
18	22		年金協定を結んでいる国の情報などをもっと発信していかないといけない。	「多言語による社会保障等の情報提供」の施策・取組に位置づけ、外国人相談窓口や多言語情報紙での情報提供のほか、国や市町、関係機関と連携し、引き続き、情報提供に努めてまいります。

(5)生活安全における支援の充実				
19	25	「現状と課題」	<p>生活安全は、犯罪だけでなく事故も対象であり、以下のとおり修正してはどうか。 (各3文字挿入) 「…地域社会で生活している中で、事故や犯罪の当事者…。」 「…、外国人住民が事故や犯罪の当事者…、…地域社会が連携し、事故や犯罪の実態に応じ</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「…地域社会で生活している中で、犯罪の当事者…。」 「…、外国人住民が犯罪の当事者…、…地域社会が連携し、犯罪実態に応じた…」 【修正後】 「…地域社会で生活している中で、事故や犯罪の当事者…。」 「…、外国人住民が事故や犯罪の当事者…、…地域社会が連携し、事故や犯罪の実態に応じた…」</p>
20	25	「現状と課題」	<p>以下のとおり修正してはどうか。 (文字削除・挿入) 「外国人住民による交通事故の発生原因としては、…」</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「外国人住民による交通事故も発生していますが、その原因としては、…」 【修正後】 「外国人住民による交通事故の発生原因としては、…」</p>
3. 活力ある多文化共生の地域づくり				
(1)地域社会に対する意識啓発				
21	26		<p>啓発プログラムの一環として「多文化共生の日」を設けてはどうか。</p>	<p>一つのご提案として参考とさせていただき、「地域社会に対する意識啓発」の施策・取組として、内容や効果を踏まえ、議論してまいります。</p>
22	26		<p>お互いの顔が見える環境づくりを進める必要がある。</p>	<p>ご意見を踏まえて、「地域社会に対する意識啓発」に努めてまいります。</p>
第5章 多文化共生施策の推進				
1 各主体の役割				
23	32	(9)県民	<p>同じ地域住民であることを表現してはどうか。 (5文字または10文字挿入) 日本人住民および外国人住民は、<u>遊賀に住む</u> (5文字)県民として(5文字)、お互いの違いを…</p>	<p>日本人住民も、外国人住民も、共に地域で暮らす県民として、その役割を記載しています。ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「日本人住民および外国人住民は、お互いの違いを理解、尊重するとともに、交流を深め、共に多文化共生の…」 【修正後】 「日本人住民および外国人住民は、共に地域で暮らす県民として、お互いの違いを理解、尊重するとともに、交流を深め、多文化共生の…」</p>
その他				
24			<p>対人援助に関わる人の心のケアも考えにいれてほしい。</p>	<p>ご指摘の事項については、施策を推進していく際に留意してまいります。</p>
25			<p>今すでにあるもの(団体や組織等)をもっと丁寧にしていくと、新しいことをしなくても良いのかもしれない。外国人住民もスキルアップの必要があるし、業務に関わる人たちもスキルアップしていかないとけない。</p>	<p>ご指摘の事項については、施策を推進していく際に留意してまいります。</p>